

【全体概要】

徳之島地域では、2009年から茶の新品種「サンルージュ」を導入し、品種が持つ機能性を活かした産地づくりを目指し、商品（ドレッシング）開発等を行ったが、品種の特性把握や栽培技術が確立されていない。このことから、本事業を活用し、肥培管理や整枝技術、摘採時期による成分の推移など品種の栽培特性を把握して生産安定を図る。また、新たな商品開発に向けた実需者との連携や掘り起こしを進め、農家所得の向上と産地育成を図ることとする。

新品種・新技術等の概要

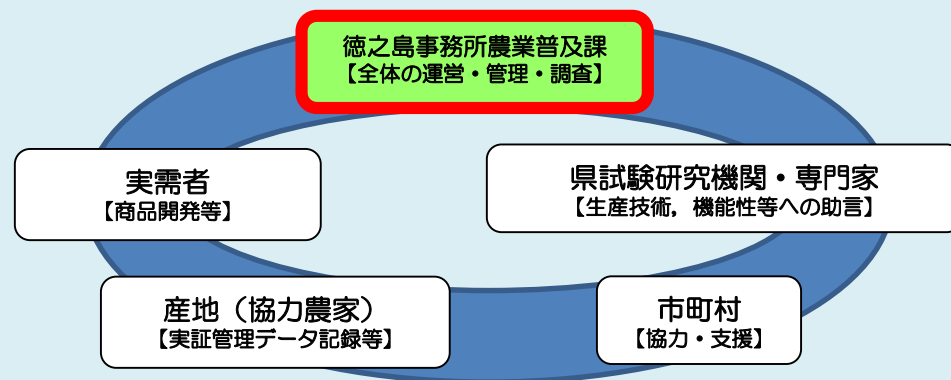
- 品 種：「サンルージュ」
- 開発者：（独）農業・食品産業技術総合研究機構
- 開発年：2009年
- 普及状況：現在、徳之島地域で約10ha導入が進んでいるが、他地域での本格導入実績はない。



主な取組内容

- 品種・技術の実需者ニーズ等適応性試験
 - ・摘採時期の違いによる成分調査
- 栽培・技術マニュアルの作成
 - ・栽培特性や成分分析結果を基に栽培マニュアルを作成し産地へ提供
- 産地ブランド候補の選定
 - ・候補選定検討会を開催
- コンソーシアム候補形成活動
 - ・コンソーシアム候補の形成に向けた市場調査等情報収集の実施と実需者への情報提供、共有活動の実施
 - ・実需ニーズを踏まえた上での産地と関係機関でのコンソーシアム候補形成検討会を開催

コンソーシアム候補の体制図



実績と今後の展開

平成26年度は、産地・実需者のほか、農研機構などの関係者と連携し、サンルージュを産地ブランド候補としての生産に関する課題や販売戦略等について検討を行い、関係者の連携を図りつつ、コンソーシアム形成に向けた共通認識の醸成を図った。

今後、栽培技術マニュアルについては、サンルージュの栽培特性等について新たな技術等を随時追加修正していく必要がある。

また、コンソーシアム形成活動から、女性をターゲットにした商品や健康食品飲料など新たな需要の可能性が見いだせたことから、現在のコンソーシアムを基本として、新たな販路拡大等に取り組む計画である。